

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連
江南厚生病院

Vol. 34
2016.7

INDEX

コラム

① 安全な手術のために

② 最新MRI装置の導入

③ 手術室での臨床工学技士業務

トピックス

ご存じですか？在宅医療を支える「在宅療養支援診療所」

「かかりつけ医」をもちましょう！

術前看護外来

イベント紹介

看護の日のイベント

お知らせ

第5回食育を考えるワークショップ・江南

がんサロン「にじの会」のご案内

2016 公開医療福祉講座

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

病院理念

- － 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- － 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- － 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

安全な手術のために ～リスクヘッジとリスクテイク～

副院長 兼 脊椎脊髄センター長 兼 中央手術室部長
金村 徳相



整形外科は、骨格や筋肉、神経などの運動器を治療する外科です。江南厚生病院では、外傷だけでなく脊椎、股関節、手、リウマチにおいて高度な専門治療を行っており、手術数は県内でも有数の施設です。しかし手術にはある確率で合併症が発生し、いかに合併症をなくすかが、われわれが最優先すべきことです。

当院では、安全な手術を目指して多くのことに取り組んでいます。院長や管理者、各部担当者が集まり、毎週1回医療安全対策会議を行い、手術室で起きた問題もすぐに対策を検討し、院長の決定を受け実行できる手術安全のための管理体制を取っています。また脊椎外手術では脊髄神経や重要な内臓、大血管などが存在することから、これらの合併症を回避すべく、多くの最先端手術支援機器を導入しています。脊髄モニタリング装置、ナビゲーション、術中3D画像装置など、その充実は日本でも1, 2の脊椎外科施設といえます。しかし安全な手術の最大の鍵は外科医の技術であり、その教育・トレーニングはきわめて重要です。多くは机上のもので、実践的技術は上司や先輩の手術を見て学ぶしかありません。海外ではご献体を用いた手術トレーニングにて若手外科医の教育が行われていますが、日本では整備されておらず、そのため当院整形外科若手医師は積極的に海外でのトレーニングに参加しています。しかし日本ではこれらは経済的な面も含め外科医個人の努力とされていて、今後実践的な外科医トレーニングに医療資源が投じられることを望みます。



手術を受けられることは「リスクテイク」です。危険を冒すということではなく、必ず危険性や合併症を理解し、了解した上でなおかつ手術を受けられるということです。合併症は新たに手術時に発生したように思われがちですが、ほとんどは手術前から可能性は存在しています。そのため手術前の説明は必ず家族全員で話を聞き、十分に納得され、その上で手術を受けられるかどうかを決定してください。1人でも疑問を持たれる場合は再度話を聞いたり、セカンドオピニオンも必要です。一方で手術の危険性のため手術を受けられない場合もあります。「リスクヘッジ」(危険回避)の点から見れば正しい判断かもしれませんが、しかし手術は病気の治療に対して他の方法より有利であるために行われるため、手術を回避することは病気というリスクに対して「リスクヘッジ」とはいえません。手術の安全性は手術中にそのすべてがあるわけではなく、それ以上に患者さんやご家族の方が手術の「リスクテイク」と「リスクヘッジ」を十分理解し、外科医・医療スタッフとともに一つのチームとなり手術を受けられることこそが安全な手術への第一歩と思われま



して他の方法より有利であるために行われるため、手術を回避することは病気というリスクに対して「リスクヘッジ」とはいえません。手術の安全性は手術中にそのすべてがあるわけではなく、それ以上に患者さんやご家族の方が手術の「リスクテイク」と「リスクヘッジ」を十分理解し、外科医・医療スタッフとともに一つのチームとなり手術を受けられることこそが安全な手術への第一歩と思われま



最新MRI装置の導入 ～安心・安全な手術のために～



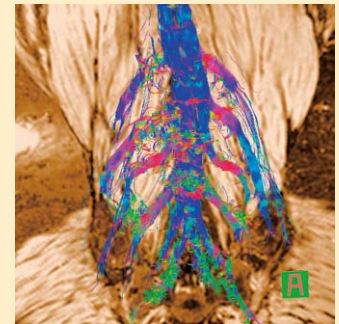
放射線技術科
伊藤 良剛



昨年、当院に導入されたシーメンス社製3T（テスラ）MRI装置（以下3T-MRI）についてお話しします。まずMRI装置とは、磁力と電波を用いて画像を得る検査であり、軟らかい組織の検査に適していると言われます。3T-MRIは従来の装置と比べて高画質な画像が得られ、診断の向上に寄与しています。

以上のお話は一般的な話で、今回は全国的にも珍しい、従来困難であった脊椎の神経線維の走行を画像化する技術によって、その画像がどのように用いられるのかを紹介します。

脊椎の神経線維の走行を画像化する技術とは、脊髄を特殊な条件（拡散強調画像）で撮影します。その後、コンピューターを用いて画像処理を行い、神経線維の走行が分かる立体（3D）画像を作成します。これを可能とする為に3T-MRIと高性能なコンピューター、そして十分な経験・知識を積んだ技師が必要となります。これらの立体画像は、直接診断に関わるわけではありませんが、手術計画の上で非常に重要で、且つ術中・術後のリスクを回避する上で無くてはならない画像となってきました。



これらの最新装置の導入によって、より安心・安全な手術が提供できるようになるのです。

手術室での臨床工学技士業務

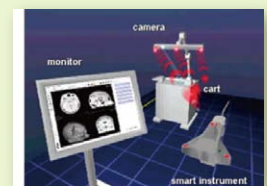
皆さんは“臨床工学技士”という職業を御存知ですか？

病院の中には様々な医療機器があり、それらを専門的に操作・保守管理する国家資格の保有者が臨床工学技士です。

手術室の中にも麻酔器をはじめ、生体情報モニタや体内に薬剤を注入するポンプ類、電気メスや内視鏡装置などたくさんの機器があり、それらが安全且つ適切に使用されるよう日々点検や操作補助を行っています。

近年では骨や神経などを3次元画像化し、より正確で安全に手術を行うことが出来る医療用ナビゲーションシステムという装置も用いられるようになってきており、そういった最新の機器の準備や操作なども行っています。

患者さんのために安全な手術が提供できるよう、医師、看護師や他の専門職と共に臨床工学技士も日々チーム医療を実践しています。



ご存じ
ですか？

在宅医療を支える 「在宅療養支援診療所」



「住み慣れた場所で自分らしく暮らしたい」と願う人々を支えるため、国は在宅医療の整備をすすめています。地域の在宅医療を支える窓口のひとつに、在宅療養支援診療所があります。在宅療養支援診療所は、患者さんの求めに応じた往診体制により自宅での療養生活をサポートし、また訪問看護ステーションや保険医療機関との連携により、24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保します。その為、緊急時であっても迅速に医療・看護を受けることができ、在宅での看取りの対応も可能です。

「病状や身体の動きなどから通院が大変になってきた」「自宅で最期を迎えたい」等、在宅療養支援診療所に関する詳しい内容をお知りになりたい方は、当院の担当医もしくは医療福祉相談室までご相談ください。

「かかりつけ医」をもちましょう！

これからは「かかりつけ医」と「専門医」・・・2人主治医制を基本に考えましょう。
紹介状をもらって受診すると、こんなにスムーズです！

- ・ 受診しやすい診療時間
- ・ 日常的な身体の相談役
- ・ 早期発見、早期治療



患者・家族

- ・ 初診3,240円不要
- ・ 病診連携室で直接対応
- ・ 待ち時間が短い
- ・ 直接専門医の診察



医療機関の役割分担の推進

専門的な検査や治療が必要なら・・・紹介

診察予約・検査予約
病診連携室

症状が安定したら・・・逆紹介

かかりつけ医

江南厚生病院

4人に1人が75歳以上となる2025年に向けて、医療や介護が必要な状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で安心して生活を継続し、尊厳をもって人生の最期を迎えることができるためにも、医療機関の役割分担がすすめられています。また、在宅医療の推進も行われています。

江南厚生病院は「専門医」のいる病院のため、地域の「かかりつけ医」との連携を推進しています。紹介状をお持ちでない方は、初診時に保険外併用療養費として3,240円が必要なだけでなく、待ち時間も長くなり、その日のうちに専門医の診療が終わらない可能性もあります。日頃の「ちょっと調子が悪い」「風邪でもひいたかな」という症状は、まず自宅近くの「かかりつけ医」にかかりましょう。

地域の限られた医療を地域全体で有効に活用し、医療を守りましょう

看護の日のイベント

5月12、13日の2日間にわたり、看護の日のイベントを開催しました。看護の日はナイチンゲールの誕生日を記念して行われる看護職のイベントの一つです。今回は、「看護の心をみんなの心に～安心してください、みんながいます～」をテーマに開催しました。日頃の看護を少しでも見ていただけたらと、看護部の各部署紹介のポスター展示、健康相談や介護用品の展示、ちびっこ白衣体験など行いました。また、講演会や演奏会も開催され、2日間で約250名の来場者があり、大変賑わいました。



講演会では、救命救急センター看護師による「安心できる救急医療をめざして」と、訪問看護認定看護師による「退院後は私たちに任せてください」と題した講演を行いました。どちらも来場した方は真剣に耳を傾け、「救命救急センターはいつでも見られるところじゃないけど、講演を聞いて安心できると思った。」「自宅で看護してもらえるなんて安心です。」など、いろいろなお声をいただきました。また、ママバンドLINKS(りんくす)による「はっぴーコンサート」、ポーニ・アミーチによる「オカリナ四重奏」の演奏会では、来場者の方は手を振りながら歌ったり、時には静かに音楽に耳を傾けたり、癒される時間が流れていました。



患者さんが「チーム医療の一員」として安心して手術に臨めるための術前看護外来

一人でも多くの患者さんが、安心して手術に臨んでいただけるように、看護師主体の術前看護外来を平成26年11月に開設しました。平成27年度は、全身麻酔で手術を受けられた外科・整形外科・産婦人科・泌尿器科の1,648名の患者さんにご利用いただきました。

術前看護外来は、手術看護認定看護師と外来看護師4名のチームで月曜日～金曜日に予約制で行っています。術前看護外来では、麻酔や手術の不安など、診察室だけでは十分に話すことができなかったことを、一人ひとりの患者さんとの面談を通して看護の視点からアプローチし、患者さんが主体的に手術に取り組んでいただけるよう意思決定支援を行います。また、安全な麻酔導入から手術へ繋げていくために、手術に影響を及ぼす薬剤の内服中止日の確認や説明、手術までの過ごし方、日常生活の注意点など患者さん一人ひとりに合わせた丁寧な説明を心がけています。

その他、手術に関わる様々な職種が協働して患者さんがより安全で安心して手術を受けていただけるようにチームとしてサポートしています。手術前からの口腔ケアが必要と判断された患者さんには、口腔外科外来との連携、呼吸機能が低下している患者さんには、手術後の肺合併症のリスクを減らすために呼吸リハビリチームとの連携などを行っています。そして、患者さん自身が主体的に手術に取り組み、「チーム医療の一員」として手術に安心して臨めることを目指しています。



主催：JA愛知厚生連 江南厚生病院

第5回 食育を考えるワークショップ・江南

参加費：無料
(事前登録不要)

日時

平成28年9月3日(土)
14時30分～17時00分

会場

江南市民文化会館(小ホール)
愛知県江南市北野町川石25-1 TEL(0587)55-2321

第1部：地域における食育活動報告

第2部：特別講演 「一生元気に暮らすための食事をお子さんに残すための食育」



(講師) 後藤 恭子 先生

タニタの社員食堂の礎を築いた初代管理栄養士。栄養指導歴約40年。企業、病院、銀行などで栄養管理、栄養指導を行っている。「その人に合った健康的な生活習慣を伝える事」がミッションで、ダイエットを越えた「食べ方」やそれを支える「考え方」を圧倒的な経験を踏まえて実行しやすい形で伝える。

(座長) 西村 直子 先生 (江南厚生病院・副院長兼こども医療センター長)

お問い合わせ先・・・

江南厚生病院栄養科(担当:朱宮) TEL(0587)51-3333(代表)

平成28年度 中間やがんに詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか? がんサロン「にじの会」のご案内

- 対象 がんを患っている患者さん
あるいは、そのご家族
- 内容 10:00～10:30 プチ講座(2か月毎に内容を変更します)
10:30～12:00 参加者同士の交流会

●日程とプチ講座のテーマ

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
7/5(火)	味覚・嗅覚障害があるときの工夫	がん看護 専門看護師
8/6(土)、 9/6(火)	免疫力アップのための リラックス方法	緩和ケア 認定看護師
10/1(土)、 11/1(火)	がん治療中の筋力維持の工夫	理学療法士

●場所 外来2階 多目的室 ※外来用エレベーター前

●参加方法 自由参加

<問い合わせ先> がん相談支援センター
TEL(0587)51-3346 FAX(0587)51-3317
E-メール:gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

参加費
無料

2016 公開医療福祉講座

- 場所：江南厚生病院2階 講堂
- 時間：13:30～14:30
- 日程と内容

7月26日(火)	がん相談支援センター がんと「今」を生きる ために大切なこと がん看護専門看護師 宇根底亜希子
8月25日(木)	こども医療センター長 副院長 西村 直子 「水ぼうそう」と 「おたふくかぜ」の話
9月28日(水)	循環器内科部長 高田 康信 知っておきたい 心臓のおはなし

お問い合わせは・・・江南厚生病院
「医療福祉相談室」野田・堀田 まで
TEL 0587-51-3333(代表)

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間の ご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00～20:00	13:00～20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2016年(平成28年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

発行日/平成28年7月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300